

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1471001022
法人名	有限会社 梨の実
事業所名	梨雲ハウス平戸
訪問調査日	平成25年2月25日
評価確定日	平成25年3月31日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
外部評価は20項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
[取り組みの事実]
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[次ステップに向けて期待したい内容]
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家 族 = 家族に限定しています。
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471001022	事業の開始年月日	平成16年1月15日	
		指定年月日	平成16年1月1日	
法人名	有限会社 梨の実			
事業所名	梨雲ハウス平戸			
所在地	(244-0803) 横浜市戸塚区平戸町1156-1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成25年2月15日	評価結果 市町村受理日	平成25年7月1日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> 勤続年数の長い職員が多いです。利用者・家族の方々にとって、馴染みの関係を提供し、安心していただけることに努めています。 職員にとって、仕事と家庭を両立させやすい職場です。 利用者の個別の対応を心がけています。皆さんの言葉に耳を傾け、出来る事、出来ないことを話し合い伝えることを心がけ、良い関係を構築するよう努めています。 畑に作物を耕作し、四季折々の野菜等の収穫を利用者と共に楽しんでいます。 日頃より、経営者が関わることで介護者の思い、やりたい事が実現しやすい現場です。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成25年2月25日	評価機関 評価決定日	平成25年3月31日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>①このホームは(有)梨の実の経営で、オーナーはこの地の出身であり、かつて先代はこの地で浜梨で知られる梨畑を経営していたが、地域の方の「グループホームを建てたい」という言葉がきっかけで、開設に至った。県の担当者から「君は君のホームを作ればよい」と助言を受けをたこともあり、思い入れのあるホームとなった。立地はJR東戸塚からバスで5分程、国道1号線沿いのバス停から徒歩3分の便利な所で、隣には竹林、少し坂を上がると富士山が望める自然豊かな場所である。庭では野菜や果樹が育てられ、食卓に上り、入居者に季節を感じて頂けている。ホームのケアは「自分らしく生きるための環境と家庭的な雰囲気の中でゆとりと生きがいの提供を心がけたい」という理念を全職員で共有し、個別対応を心がけたケアにあたっている。特に利用者については「その人に対して何をしてあげられるか」を知ることは難しく、チームワークで利用者の希望の把握と実現に取り組んでいる。ホーム設立から10年、係わった職員のうち今も46人が残っており、チームワークの良さが感じられる。小さい子供のいる方でも働きたいとの思いを受け入れ、2時間勤務の体制もあるが、強い責任感を持ってケアに臨んでいる。</p> <p>②町内会に加入し、防災訓練に参加したり、ホームの納涼祭・秋刀魚の会・バザーなどの行事に近隣の方に来て頂く等の交流をしている。ボランティアで近くの男性が草むしりや畑の手入れ、秋刀魚を焼くお手伝いに来て下さっている。地域の中学校2校の職業体験学習に協力し、認知症の理解を深めてもらえるよう努めている。また、地域への発信にも心がけ、元々は内部研修の機関であった「梨の実塾」をご家族→ひよどりの会(退職した職員の会)→退去されたご家族→地域に広げ、テーマに応じて呼びかけを行ない、皆で心のケアを考える活動を展開して好評である。職員のレベラアップに、この梨の実塾の果たす役割が大きい。</p> <p>③職員の教育については内部の勉強会の充実を図ることを基本とし、神奈川県、横浜市、戸塚区、ケアプラザなどの外部研修も活用し、研鑽を図っている。ご家族に対しては毎月1回一人ひとりの写真を添えたお便りを家族に送り、近況の報告をしている。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	梨雲ハウス平戸
ユニット名	豊 水

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ヘルパールーム、事務所に理念を掲示し皆で共有、実践するように努めています。 利用者が今まで過ごされてきた時間を大切にながら、ホームでのあらたな時間を築き上げていくことに努めていきます。 	<p>開所当時の理念を今も生かし、ヘルパールーム、事務所など目につく所に掲示し、全職員で共有しケアにあたっている。新職員には、採用時の面談にて理念の説明をしている。利用者が今まで過ごしてきた生活を大切にし、ホームでの豊かな共同生活を過ごせるよう支援に努めている。</p>	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> 獅子舞・梨狩り・秋刀魚の会・夏祭り・バザー等ボランティア、地域住民との交流に努めています。 町内会の防災訓練に参加し地域の一員として利用者と共に生活していけるよう積極的に取り組んでいます。 	<p>町内会には回覧板・ポスターの掲示、家族には年間予定表で行事をお知らせし、ボランティアの方々に支えられて毎年、梨狩り・秋刀魚の会・夏祭り・バザーなどを開催、地域の方にも楽しんで頂いている。町内会の防災訓練に参加、又地元中学校の職業体験学習の受け入れ先にもなっている。</p>	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> 地域老人会の方々、尺八・歌・お茶会等のグループが定期的に訪問していただいています。 近隣の方々の行事へのお誘いをし、認知症の理解と共に交流を心がけています。 地域中学校（2校）の体験学習に協力し認知症の理解を深めていただけよう努めています。 	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> 年6回の開催に努めました。 家族より行事への積極的な参加への申し出があり共に過ごす時間が増えました。 多くの家族が出席していただける中でいろいろな思いや要望、情報、アドバイス等を活かせるように努めています。 	<p>24年度は年6回の開催をし、多くの家族が集まる良いきっかけになった。行事にも積極的なお手伝いを頂け、防災訓練にも意見を頂けた。メンバーは町内会長・民生委員・地域包括支援センター主任マネージャー・ご家族・職員で事故報告や事業報告をし頂いた意見を運営に生かしている。</p>	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> 行政による連絡会等への参加、お知らせは回覧等しています。 地域包括センター等での集まりには参加しサービスの情報交換に努めています。 単身の生活保護受給者には区役所の担当者と一緒に相談しながら協力関係を築くよう努めています。 	<p>横浜市、戸塚区、グループホーム連絡会の講習、研修会に出席、また、区主催のグループホーム連絡会では事業所の状況報告と諸相談を行い、助言を求めている。生活保護受給者の相談では、市窓口の生活保護課と連絡交流がある。ケアプラザに地域のケアマネが集まる”ケアマネサロン”があり、研修・勉強会・在宅医師の情報交換などをし、有意義な関係が出来ている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の中で勉強会を設け、職員への理解周知に努め、「身体拘束をしないケア」の実践を心がけています。 ・危険防止・防犯のため、やむを得ず玄関の施錠をしていますが、職員それぞれが鍵を携帯し利用者が不自由な思いをしないように心がけています。 	「基本的に身体拘束をしないケアを心がける」ということを、会議の中の勉強会、毎朝の申し送り時に話し合っている。ご自分で鍵を開けて出て行かれる方がおり、やむを得ず玄関施錠をし、職員が常に鍵を携帯し不自由な思いをしないように心がけている。常に開けられる試みは忘れないようにしている。言葉については、ご家族が「大切にしてもらっている」と云う言葉を常に考え、改善を心がけている。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会を通して拘束と共に虐待の認識のすり合わせをしています。言葉・姿勢に対して気付いた時に話し合うことで確認し合っています。 ・排泄・入浴等その際に変化（傷・痣）がないか観察をしています。 		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人制度（家族・司法書士）を活用されている利用者がいらっしゃいます。 ・家族や司法書士の方に、話を伺い理解に努めています。 		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> ・契約前・契約時には重要事項説明書および契約書をお話し、ホームでの生活を理解していただくことに努めています。 ・入居年数が長くなり重度化に伴う不安・負担についても、それぞれの様子に見合った対応を心がけています。 		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時、外部・内部の苦情相談窓口を説明し連絡先を見やすいところに掲げています。 ・ケアプラン打ち合わせ・運営推進会議・行事等の中で利用者・家族との意識のすり合わせに努め運営に反映するよう心がけています。 	利用者の意見については、日常の見守り時に気付きや、本人から直接意向を聞くようにしている。ご家族等の意見は来訪時、電話等での意見を考慮するようにしている。運営推進会議についてはご家族全員に声をかけ、出席できる人は出て頂いており、常時、平均7～8人が参加されるので、運営推進会議での意見が参考となっている。ケアプランの打合せ時にも意見・要望を聞き計画及び運営に反映させている。毎月1回のお便りで、ホームの1か月の行事や様子、ご本人の様子を写真入りで載せ、ご家族に近況報告している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送り・朝礼・会議・起案書等で職員の意見や要望、提案を出していただく機会を設けています。また、いつでも気軽に意見等が言える雰囲気作りに努めています。 ・代表者、管理者からの声かけを心がけています。 	申し送り・朝礼・会議・起案書等で職員の意見、要望、提案を聞く機会を設けている。短時間勤務の職員との対話も、ホーム長や管理者がするように心がけている。研修や勉強会の”梨の実塾”を年5回開催し、技術や意識の向上に取り組んでいる。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のライフスタイルを重視し（家庭環境・日数・時間帯・時間数）皆が安心して携われるよう職場の環境整備に努めています。 ・緊急時の対応、突発的な事情による遅刻早退・欠勤・休職にも柔軟に対応できるよう努めています。 		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> ・「梨の実塾」を年5回開催しています。外部・内部から講師をお願いし、技術・知識・意識の向上に皆で取り組んでいます。 ・研修内容をフロア会議で報告し理解・周知に努めています。 		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣の他事業所の行事に参加し、代表者・管理者・ケアマネジャー・職員との交流の時間からサービスについて意識の向上に努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・見学时、事前面談時の聞き取り、アセスメント時に今までの生活様式・環境・状況を把握することに努めています。 ・ご本人に向き合い、不安・要望等の把握に努め入居していただけるよう努めています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・見学、面談、入居にあたり聞き取り、話し合いで希望、悩み、不安等を受け止めることに努めています。 ・家族が気軽に思いを話していただけるよう雰囲気づくりを心がけ、良い関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・入居前後より家族と意見のすり合わせを重ねています。少しでも安心していただけるように、その方の必要とすることを考えて対応することを心がけています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・一緒に食卓を囲み喜怒哀楽を共有し、安心して生活できるように努めています。 ・その都度、家族と確認しあい出来る事、やりたい事をしていただきながら、生活できるよう支援しています。（食事づくり・配膳下膳・洗濯干し・ごみ出し・伴奏・落ち葉掃き）		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・家族の都合のよい時間に面会していただいています。（教会・コンサート・散歩・食事） ・相談の上、自宅への外泊・外出・食事を楽しまれています。 ・家族の気持ちを受け止めホームとして良好な関係づくりに努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・家族、親戚、知人等の面会・外出は自由にしていただいています。（買い物・食事・コンサート等） ・居室で家族・知人とおしゃべりを楽しみ、好物を召し上がったりしています。	家族・親戚・知人等の面会や外出は自由にして頂いている。家族と墓参りに行く方や、利用者の通っている協会のゴスペルコンサートにお連れしたり、アイドルのコンサートに職員が一緒したりと、利用者の心に寄り添った支援をしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者同士の関係性の把握に努め、見守り・関わることで穏やかに過ごしていただけるよう努めています。 ・アクティビティ等で利用者が苦手なことも職員が手伝わさせていただくことで楽しんでもらえるよう努めています。 ・難聴の方には孤立しないように、職員の介入によって関われるよう努めています。 		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひよどりの会」に入会していただき退居された方・退職された職員等との交流に努めています。（行事への参加、お手伝い・勉強会へのお誘い） ・自宅に戻られた方がホーム等の行事に遊びに来られ、利用者職員との時間を楽しんでいると聞いています。 		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティ、外出等の参加について、利用者の意に添うよう、その方の生活ペースを守っています。 ・一人ひとりの思いや希望の把握に努めています。 ・言葉で表現されない方には時間をかけ、職員と話しながら、本人の気持ちに寄り添えるよう心がけています。 ・本人の希望で買い物へ出かけ、好きな洋服を選んでいただきました。 	「本人の思いを汲んで今出来ることを今やろう」を共通の思いにして、希望や意向の把握に取り組んでいる。映画・コンサート・海が見たい・買い物に行きたい等の要望をお聞きし、実行しているが、帰って来た時の表情がとても良く、楽しいお話をお聞きできている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居されるまでの生活環境・趣味・仕事・家族との関係性を伺い、グループホームでの生活に取り入れるように努めています。 ・ホームでの生活に慣れるまでの時間、家族と共に相談・検討しながら、これまでの暮らしの把握に努めています。 		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・フロア会議、毎朝の申し送り、夜勤者への申し送りなどで、一人ひとりの心身の状態を共有し、食事、睡眠、排泄等生活リズムを把握するよう努めています。 ・変化の著しい方には、「行動表」を作成し、情報の共有に努めています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> ・入居前、アセスメント表に記入していただき、これまでの生活の様子等を把握し、グループホームで活かされるよう努めています。 ・定期的あるいは必要な時は、家族・利用者と打ち合わせをして「～したい」という気持ちを大切に計画をたてることに努めています。 	<p>入居時に、先ずアセスメント表（6枚程度）を書いて頂いた上で、ご自宅に伺い、本人・家族と話し合い、質問や生活を見せて頂いた上で暫定の介護計画を策定し、見守りの上本プランを策定し、家族も交えて中間で評価し、個人担当に意見を聞き、カンファレンスで検討の上、次回の介護計画を策定している。本人の「～したい」と言う気持ちを大切にプランをたてている。計画をもとに申し送り時に変化、気づきを報告し合い、現状に合ったケアに努めている。</p>	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・介護日誌に日々の様子・変化・気づき等を記録しています。特に急変し緊急を要することはボードにはり、情報の共有に努めています。 ・ケアプランにそって実践されているか確認しながら見直しに努めています。 		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・家族と一緒に日帰り旅行を希望される方にはヘルパー事業所の紹介、訪問リハビリを希望される方には理学療法士の紹介等、家族の希望に柔軟に対応するよう心がけています。 		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にサークルやボランティアの方々等に訪問していただいています。地域の方々と交流しながら皆で楽しめるよう努めています。 ・ホームでの行事（バザー・夏祭り等）に近所の方々に参加していただき、交流の場を広げることを心がけています。 		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者および家族の希望にそって、かかりつけ医を決めていただき、定期的に受診・往診をしています。 ・緊急時は、かかりつけ医の指示を仰ぎ対応に努めています。 ・かかりつけ医との良好な関係を大切にすることを心がけています。 	<p>入居前からの掛かりつけ医が6～7か所あり其々定期的に受診・往診をしている。状況の変化に伴い、掛かりつけ医の変更にも相談しながら適切な医療を受けられるよう支援している。開設時からお世話になっている近くの内科とは、急変時にも対応して頂いている。良好な関係性を築き、維持できるよう心がけている。</p>	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の日々の生活からの気づきを、かかりつけ医、訪問看護師に伝え、個々に見合った受診、往診、訪問看護を受けています。また、変化があった時は、連絡をとり指示を仰いでいます。 		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時、詳細な情報を伝えていきます。また、退院に向けて医師・看護師と前もって打ち合わせの時間をいただけるよう努めています。 ・急変時は、速やかに報告し指示をいただけるようお願いしています。 		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン時等、家族の意向を伺い、その旨をかかりつけ医に伝え、方針の共有に努めています。 ・状況により家族・かかりつけ医・ホームの三者の話し合いを持ち、支援方針の決定に努めています。 	ケアプラン時に家族の意向を伺い、その旨を掛かりつけ医に報告している。ターミナルに向けての心構えなどを、近くの内科の医師に助言して頂き、職員の安心に繋げることが出来た。日頃から本人・家族の意向の把握に努めている。終末期を迎えた場合の対応としては、家族、かかりつけ医、職員の三者の話し合いを持つことで方針の共有に努めている。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> ・日中や夜間等の急変、事故時のマニュアルは目につくところに掲示しています。また、ケアプランに利用者の対応・連絡方法が記載しています。 ・年2回消防訓練を行っています。その際、消防署の方々から緊急時の対応・応急処置の指導をいただいています。 		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練に参加し、ホームの状況を把握していただいています。 ・避難訓練を行い、災害時の対応を身につけることに努めています。 ・備蓄倉庫を設置し防災用品の充実に努めています。また、家族には、いろいろな側面からの協力をお願いしています。 	年2回消防署の指導の下、実際の手順に従って防災訓練・避難訓練を行っている。地域の防災訓練に参加し、その折にホームの状況を把握して頂いている。スプリンクラーを取り付け、災害に考慮し備蓄倉庫も設置、環境整備に努めている。防災用品や衛生用品など日常生活用品の確保に心がけている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> 年間目標の「接遇」を具体的にあげ、定例会議等で話し合い・確認し、一人ひとりの人格・プライバシーについて、意識の向上に努めています。 入居期間が長くなり、気付かぬうちに人格やプライバシーを損ねる言葉がけをしていないか等々、確認し合える環境づくりに努めています。 	<p>テーマを掲げながら研修をしており、昨年に続き「接遇」を取り上げた。勤続年数が長くなると「なれあい」になりがちで、注意し合えるような職場環境に持っていきたいとの思いで対応している。利用者のプライバシーに配慮した声掛けを大事にしている。</p>	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> 選択肢を用意し、自己決定の機会をつくるよう心がけています。 行事の参加、衣類の選択、食事の時間等利用者の意思・様子を尊重することに努めています。 自己決定の困難な方には、本人の気持ちになり、その時の表情やしぐさ等で思いをくみ取ること努めています。 		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> 食事や入浴、おやつ、アクティビティ等その都度、声かけをしますが、その日の様子から、その方の思いを大切にすることを心がけています。 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとに衣替えを一緒にするようにしています。 朝の整容を促し、気持ちの良い一日の始まりに努めています。また、入浴後、化粧水・乳液・クリームなどの肌の手入れをしています。 美容師（ボランティア）の方に、それぞれ希望を伝え、お気に入りの髪型にしてもらっています。 		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> 旬の食材を畑で収穫・調理して召し上がっていただいています。（なす・ゴーヤ・ふきのとう・タラの芽等） 食材の下ごしらえ、盛り付け等のお手伝いをしていただいています。 お盆に食事をセットし、お気に入りの食器で食事を楽しめるよう配慮しています。 	<p>1階・2階それぞれの職員が3か月交替で1か月分のメニューを作っている。食材は、生協・八百屋・魚屋、米は福島農家に発注している。誕生日には本人の食べたい物をお聞きし、外食したり、お寿司や刺身を取ったりしている。パンの希望には昼の職員の目が行き届く時に提供している。</p>	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の食事量や水分量を記録しています。 ・水分摂取の少ない方には声かけ、好きな飲み物等を用意するなど、摂っていただけるよう工夫しています。 ・ミキサーやキザミ、とろみや盛り付け分量などを工夫しています。 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・食前にうがい等をして、誤嚥の予防に努めています。 ・食後、ご利用者の様子を見て、根気よく声かけして口腔ケアに努めています。 ・夕食後、義歯は外して洗い、ワーカールームにて保管して消毒しています。 ・口腔ケアチェック表を食後につけています。 		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄パターンを把握し、トイレ誘導を心がけています。 ・毎食後、排泄の機会を逃さないように心がけています。 ・立位をとっていただける限り、日中はオムツを使わないように努めています。 	排泄チェック表から利用者の生活リズムに合った声かけに努め、表情や仕草など一人ひとりのサインを見逃さないよう誘導することを心がけている。立位の取れる利用者には、二人体制を取ってでも可能な限り、トイレにお連れするよう努めている。一人一人の気持ちを大切にして支援している。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーグルトや繊維食品等、食事から摂取していただくことを目指しています。 ・毎日のアクティビティ等（体操・散歩等）適度な運動を心がけています。 		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの体調や希望を伺い、声かけによって入浴を促し、楽しんでいただけるよう努めています。 ・季節ごとに菖蒲湯・ゆず湯・みかん湯等（地域の方々の協力）を楽しんでいただいています。 	入浴は利用者のその日の体調や希望を考慮しながら、楽しんでもらっている。基本的には週に3～4回の入浴だが、夏場はシャワー浴を含め、毎日入る方もいる。車椅子の方はリフト入浴の支援もあり、職員の見守りで一人で入浴を楽しまれる方もいる。風呂場はリフト、床暖房、エアコン、乾燥機なども完備している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の様子や希望を伺い、安心していただけるよう居室の明暗・室温・室温・音などの配慮をしています。 ・一人ひとりの体調に合わせて休んでいただいています。また、気持ちよく過ごしていただけるよう整理整頓に努めています。 		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの配薬表を作り、薬の説明書をつけ職員の理解・周知に努めています。 ・服薬の変更時には、報告・指示・掲示など速やかに対応することを心がけています。 		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・居室の掃除や洗濯干し、たたみ、メニュー書き等できる限り、自分のことは自分で…役割を持っていただけるよう心がけています。 ・興味のあるアクティビティ等に参加していただいています。（尺八・お茶会等） ・陽気の良い日は散歩・買い物など気分転換に心がけています。 		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんの様子を見ながら、散歩・ドライブ・買い物を楽しんでいます。 ・家族や知人と外食・喫茶を楽しまれています。 ・家族の記念日や歳時等それぞれの希望に添えるよう努めています。 ・職員と外出や買い物を楽しんでいます。 	<p>体調を見ながら出来る限り散歩にお連れしている。近場ではホテルの里・川上公園・ホームセンター・コンビニへの買い物。遠出はズーラシア・八景島シーパラダイス・山下公園など。羽田空港へ出かけた時にはとても喜んでもらえた。</p>	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に外出し、希望の品物を購入していただきます。 ・年2回のバザー、近隣のバザーで買い物を楽しんでいます。 ・利用者や家族の希望でお財布を所持している方がいらっしゃいます。 		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとに絵手紙を描き、家族や知人に送っています。 ・利用者や家族の電話での交流を実践しています。 	/	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下やリビング、居室に利用者の作品、外出先や季節に応じて行われた行事の写真をはって楽しんでいます。 ・月2回のフラワーアレンジの作品をリビングに飾り季節感を取り入れています。 ・面会者（家族・知人）にとって、心地よい空間をつくるよう心がけています。 	リビングやトイレに大きな空気清浄器を置き、環境に配慮している。月2回花屋さんに依頼している花でフラワーアレンジを利用者と一緒にし、リビングに飾って季節感を感じられるよう工夫している。利用者が思い思いの場所でくつろげる様、数か所にソファを配置している。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・和室にはソファを置き、冬はホットカーペットを敷き、気ままにゴロっとして頂いています。 ・思い思いに動かして頂ける様、危険事故がないようフロアの様子を見守っています。 ・仲の良い友人とリビングに座り、楽しい会話をされています。 	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・馴染みのある品々を置いていただき、使い慣れた物を引き続き使っていただいています。 ・居室内の配置は利用者と家族、職員と一緒に検討し納得していただけるよう努めています。 ・横になられることの多い方には、見やすい場所に絵・写真・カードを置いています。 	エアコン・クローゼット・ベッドがホームの備付になっている。本人の馴染みの写真・人形・タンスなどで居心地良く暮らせる空間になれるよう工夫している。2階は居室の入口に個々ののれんをかけて、独自性を出している。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ、居室がわかるように大きめの字で書き、出来るだけご自分でトイレ・居室の行き来が出来るように工夫をしています。 ・皆で、洗濯物が干せるように物干し竿の高さを工夫しています。 	/	

目 標 達 成 計 画

事業所

梨雲ハウス平戸

作成日

平成25年2月25日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	48	自立度が高い方が多くなり、時間をもてあましていることがある。	自立度の高い方々に生活歴を活かし、それぞれの役割を持って生き生きとした生活をしていただく。	食事の準備・片付け・洗濯物を干し、たたむ等、日々の生活から出来ることを見極め、はりのある生活を送っていただく。	1 2 か月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	梨雲ハウス平戸
ユニット名	幸 水

梨雲ハウス平戸

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・ヘルパールーム、事務所に理念を掲示し皆で共有、実践するように努めています。 利用者が今まで過ごされてきた時間を大切にながら、ホームでのあらたな時間を築き上げていくことに努めています。		梨雲ハウス平戸
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・獅子舞・梨狩り・秋刀魚の会・夏祭り・バザー等ボランティア、地域住民との交流に努めています。 ・町内会の防災訓練に参加し地域の一員として利用者と共に生活していけるよう積極的に取り組んでいます。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・地域老人会の方々、サークルグループの定期的な訪問をいただいています。 ・近隣の方々への行事へのお誘いをし、認知症の理解と共に交流を心がけています。 ・地域中学校（2校）の体験学習に協力し認知症の理解を深めていただけるよう努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・年6回の開催に努めました。 ・家族より行事への積極的な参加への申し出があり共に過ごす時間が増えました。 ・多くの家族が出席していただける中でいろいろな思いや要望、情報、アドバイス等を活かせるように努めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・行政による連絡会等への参加、お知らせは回覧等しています。 ・地域包括センター等での集まりには参加しサービスの情報交換に努めています。 ・単身の生活保護受給者には区役所の担当者と一緒に相談しながら協力関係を築くよう努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の中で勉強会を設け、職員への理解周知に努め、「身体拘束をしないケア」の実践を心がけています。 ・危険防止・防犯のため、やむを得ず玄関の施錠をしていますが、職員それぞれが鍵を携帯し利用者が不自由な思いをしないように心がけています。 		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会を通して拘束と共に虐待の認識のすり合わせをしています。言葉・姿勢に対して気付いた時に話し合うことで確認し合っています。 ・排泄・入浴等その際に変化（傷・痣）がないか観察をしています。 		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人（家族・司法書士）の方からお話を伺い、グループホームでの生活の中からの関わりを教えていただきました。 ・今後、この制度を活用したい方がいらした時は参考にできるよう支援していきたいと思います。 		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> ・契約前・契約時には重要事項説明書および契約書をお話し、ホームでの生活を理解していただくことに努めています。 ・入居年数が長くなり重度化に伴う不安・負担についても、それぞれの様子に見合った対応を心がけています。 		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時、外部・内部の苦情相談窓口を説明し連絡先を見やすいところに掲げています。 ・ケアプラン打ち合わせ・運営推進会議・行事等の中で利用者・家族との意識のすり合わせに努め運営に反映するよう心がけています。 		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送り・朝礼・会議・起案書等で職員の意見や要望、提案を出していただく機会を設けています。また、いつでも気軽に意見等が言える雰囲気作りに努めています。 ・代表者、管理者からの声かけを心がけています。 		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のライフスタイルを重視し（家庭環境・日数・時間帯・時間数）皆が安心して携われるよう職場の環境整備に努めています。 ・緊急時の対応、突発的な事情による遅刻早退・欠勤・休職にも柔軟に対応できるよう努めています。 		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> ・「梨の実塾」を年5回開催しています。外部・内部から講師をお願いし、技術・知識・意識の向上に皆で取り組んでいます。 ・研修内容をフロア会議で報告し理解・周知に努めています。 		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣の他事業所の行事に参加し、代表者・管理者・ケアマネジャー・職員との交流の時間からサービスについて意識の向上に努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・見学时、事前面談時の聞き取り、アセスメント時にこれまでの生活様式・環境・状況を把握することに努めています。 ・ご本人に向き合い、不安・要望等思いの把握に努め入居していただけるよう努めています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・見学、面談、入居にあたり聞き取り、話し合いでご希望、悩み、不安等を受け止めることに努めています。 ・家族が気軽に思いを出していただけるような雰囲気づくりに配慮し、良い関係づくりに努めています。 		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居前後より家族と意見のすり合わせを重ねることで、少しでも安心していただけるように、その方の必要とすることを考えて対応することを心がけています。 		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に食卓を囲み喜怒哀楽を共有し、安心して生活できるように努めています。 ・その都度、家族と確認しあい出来る事、やりたい事をしていただきながら生活していただけるよう支援しています。（食事づくり・配膳下膳・洗濯干し・ごみ出し・伴奏・落ち葉掃き） 		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・家族のご都合のよい時間に面会していただいています。（教会・コンサート・散歩・食事） ・相談の上、ご自宅への外泊・外出・食事を楽しませています。 ・家族の気持ちを受け止めホームとして良好な関係づくりに努めています。 		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、親戚、知人等の面会・外出はご自由にしていただいています。（買い物・食事・コンサート等） ・居室で家族・知人とおしゃべりを楽しみ、好物を召し上がったりしています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者同士の関係性の把握に努め、見守り・関わることで穏やかに過ごしていただけるよう努めています。 ・アクティビティ等で利用者が苦手なことでも職員が手伝わせていただくことで楽しんでもらえるよう努めています。 ・難聴の方には孤立しないように、職員の介入によって関わられるよう努めています。 		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひよどりの会」に入会していただき退居された方・退職された職員等との交流に努めています。（行事への参加、お手伝い・勉強会へのお誘い） ・退居された方からの要望等に応えられるよう職員間で話し合いに努めています。 		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の希望・意向の把握に努めています。 ・意思疎通の困難な方には生活リズムを把握しながら、職員間で話し合い支援に努めています。 ・食事介助等、利用者の意思を尊重し時間に捉われず利用者のペースを大切にしています。 		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・お茶、汁物等、利用者の好みに合わせた温かさでお出ししています。 ・利用者との会話の中から、これまでの生活の様子や家族からの情報の提供をしていただきやすい環境づくりに努めています。 		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、申し送りの中で一人ひとりの心身状態を把握し共有することに努めています。 ・食事、排泄、睡眠、バイタル、歩行状況等から気付きについて、ケースノートに記録し活用しています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族の意向を反映するように話し合いに努めています。また、それにともない職員間での話し合いに努め、現状に見合った計画をたてるようにしています。 ・日々の身体の変化について、かかりつけ医と相談しながら計画をたてるよう心がけています。 		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・気づきや提案等、各々ケースノートや連絡事項等に記録し、申し送り時に確認・周知し情報の共有に努めています。 ・勤務形態が様々なため、職員間のコミュニケーション・チームワークを図るようにしています。 ・介護日誌、個人記録の充実に努めています。 		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の様子をみて、受診・面会・外出・外泊など柔軟に対応するよう心がけています。 		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のサークル、尺八、車いすの保守点検、畑の耕作など地域の方々に協力していただいています。 ・定期的に訪問していただいていることで、馴染みの関係になっています。利用者・職員も一緒に楽しんでいます。（お茶の会・幼稚園児の訪問） 		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者各々、定期的を受診・往診をしています。 ・利用者と家族の状況の変化にともない、かかりつけ医の変更にも相談しながら速やかに良好に行えるよう努めています。 ・急変時等には、かかりつけ医より家族へ納得していただけよう丁寧に説明していただいています。 		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護師の訪問を受けています。訪問時、日々の変化を報告しています。 ・早急に対応が必要と思われる場合は、訪問看護師・かかりつけ医に連絡し指示を仰いでいます。 ・訪問看護師と相談しながら支援に努めています。 		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時、詳細な情報を伝えています。退院にむけて医師・看護師と前もって話し合う時間をいただいています。 ・急変時の対応についても速やかに報告し、指示を仰げるようお願いしています。 		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン時、家族の意向を伺い、その旨をかかりつけ医に報告しています。 ・家族、かかりつけ医、職員の三者の話し合いを持つことで方針の共有・対応に努めています。 ・日頃から本人・家族の意向の把握に努めています。 		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> ・日中、夜間の急変・事故時のマニュアルは目のつくところに掲示しています。 ・ケアプランの打ち合わせ時に、利用者の対応・連絡先等を記載し分かりやすくしています。 ・事故防止のため、ヒヤリハットの活用にも努めています。 ・職員間の連携をとるよう努めています。 		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回消防署の指導のもと、防災訓練・避難訓練を行っています。 ・災害時を考慮し備蓄倉庫を設置し、室内外の環境整備に努めています。 ・防災用具や衛生用品など日常生活用品の確保に心がけています。 		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年に引き続き年間目標に「接遇」を掲げました。毎月、具体的な事柄をあげ職員に周知していただいています。 ・居室訪問時のノック、言葉づかいなど職員それぞれが意識を持って、対応することを心がけています。 		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・食事、入浴、排泄、アクティビティ等の声かけをし、自己決定をしていただくよう努めています。 ・指示的な言葉づかいにならないよう、心がけています。 		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の生活リズムを大切にされた対応に努めています。 ・起床、就寝についてもその日の様子や体調等を考え、利用者のペースを重視した支援を心がけています。 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・衣類等着替える時に、利用者を選んでいただいています。 ・おしゃれに興味がある方には、口紅・マニキュアなど職員と一緒に楽しんでいます。 ・利用者自身が身だしなみを心がけてもらえるよう、身近なところに鏡を置いています。 ・ボランティアの美容師にお気に入りの髪型にいただいています。 		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の支度（野菜の皮むき・きざみ・餃子包み・ハンバーグ・コロッケ等）を手伝っていただいています。 ・利用者の誕生日には召し上がりたいものを伺い、皆でお祝いをしています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の食事量や水分量を記録しています。 ・個々の状態に合わせてキザミ・ミキサー・盛り付け分量等の工夫をしています。 ・食事、水分摂取の少なめな方には、声かけや好物を用意するなど工夫をしています。 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食後、利用者に見合った口腔ケアの実践に努めています。 ・口腔ケアになかなか応じていただけない場合は、根気よく納得していただけるよう声かけに努めています。 		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄チェック表から利用者の生活リズムに合った声かけに努め、一人ひとりのサインを見逃さないよう誘導することを心がけています。 ・立位のとれる利用者には、可能な限りトイレにお連れするよう努めています。 		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄チェック表を作成し、利用者の特性の把握に努めています。 ・毎朝、ヨーグルトや飲み物の工夫など食べ物による摂取に努めています。 ・個々に合った運動をしていただけるよう心がけています。 		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のその日の様子やバイタル測定、入浴時間、好みの湯温を考えて、入浴を楽しんでいただいています。 ・菖蒲湯、ゆず湯、みかん湯など（地域の方々の協力）で季節を感じていただけるよう努めています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの睡眠パターンに合わせ、好きな時間帯に休んでいただいています。 昼夜を問わず、居室の明暗・温度・湿度音など希望を伺いながら安心して休息していただけるよう支援しています。 		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 服薬の目的・用法・効能を記載した配薬表を作る作り、確認に努めています。 誤薬防止のため、職員間でチェック体制（名前の確認等）を作り、服薬支援に努めています。 		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> 陽気のよい日に体調をみて、散歩・ドライブ・外食等をして気分転換に努めています。 水分や食事を思うように摂取できない利用者には、口当たりの良いものや好物を考え、対応に努めています。 利用者の個性を把握し、役割を持てるように支援しています。（食器洗い・エレクトーンの演奏） 		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> 体調をみて散歩・ドライブ等を楽しんでいます。 家族や知人、職員との外出・外食・買い物を楽しんでいます。（コンビニ・ホームセンター等） 		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> 家族の理解を得て、お財布を所持されています。所持することで安心されています。 利用者の希望のものを購入するために一緒に出かけ、喜ばれていました。また、ホームでのバザーで好きな食べ物や気に入った洋服を買い求め、楽しんでいただいています。 		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の希望に対応しています。電話の取りつぎは時間に関係なく取りついでいます。 ・ボランティアの指導で絵手紙を描かれ、季節ごとに家族や知人の方々に送っています。 		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回のフラワーアレンジをリビングに飾り、季節のお花で季節感を感じていただいています。 ・リビングや廊下、居室に利用者の作品や季節に応じて行われた行事の写真をはり、楽しんでいただいています。 		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・和室にソファを置き、好きな時間に思い思い過ごしていただけるようにしています。 ・気の合った利用者同士で居室の行き来をされています。 ・事故やトラブルのないように見守りを心がけています。 		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・馴染みの品物（写真・小物等）を居室に置いていただいています。 ・居室で快適に過ごしていただくために、家具等の配置を利用者・家族・職員と相談し安全・安心に努めています。 		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・建物内部はバリアフリーです。廊下・トイレ・浴室に手すりを備えています。 ・時計やカレンダー、メニューボードや利用者の作品等を、目のつき易いところに設置しています。出来ることを本人の役割として生活できるよう支援しています。 		

目 標 達 成 計 画

事業所

梨雲ハウス平戸

作成日

平成25年2月25日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	27	個別のヒヤリハットを書いているが、活かされていない。	職員の意識の統一を図り事故を防ぐ。	ヒヤリハットの報告書を読むこと。 対応策の検討を行う。 見守り強化など抽象的な言葉ではなく具体的な改善方法を考え行う。	12か月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。